

OIS
反府インテリア設計士協会
 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
 TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553
 URL <http://jp-interior.or.jp/ois>
 blog <http://oisblog.exblog.jp>
 E-mail ois@jp-interior.or.jp

編集スタッフ
 田原・石渡・広畑・河原・仲田
 奥田・岡崎

葉知利書

は し り が き

OIS総会

No.76



会長のつづやき

ともかく「景気が悪い」という言葉ばかりが耳に入ってきますが、ほんとにそうでしょうか。確かに社会状況は建築、インテリア業界にとって厳しい時代であることは間違いありませんが、それでも僕たちがまだ若くてインテリアに希望を持って仕事を始めたころも決して明るい情報に満ち溢れていたわけではなかったと思います。

オイルショック、高度成長、バブル崩壊、いろいろありましたが、いつの時代も前向きな人、企業は着実に生き残り、それ

なりの成長を遂げています。何もしないで仕事に来ること自体おかしいことであり、仕事は自分が創り、そして追い込んでいくものだと言われたことがあります。ただ、待っているだけで、仕事来ないとぼやく人が多すぎます。自分から行動を起こすことによって結果が出てくるものであり、少なくとも何もしなくて仕事に来る時代ではありません。

より多くの人と交流を持ち、生きた情報を交換し、視野を広げる努力をすべきだし、そのために、おおいに我々の協会を利用してほしいものです。

(会長 宮後 浩)

平成20年4月25日、難波OCAT4階アートスペースで、本年度の総会が開催されました。立ち見が出るほどの出席者のなか、19年度の事業・決算報告、20年度の事業・予算案が審議され、盛り沢山の事業計画に賛同の声をもらって滞りなく終了しました。

そのあと懇親会場である5階スーパードライへ移動し、老若男女あい交り合っの楽しいパーティーとなりました。これから社会へ飛び出そうとする学生～社会を担う若手～そして次世代を導く心強いお歴々……。これだけの人が一堂に会するのはとても貴重なことだと思います。



乾杯！
 正田顧問 南野副会長 植田本部長



懇親会のようす
 梅田さん 榎さん 中田さん 阿部さん 榎田さん



一広畑理事
 中崎さん 辻森さん 宮後会長



一今西常任理事
 平岡さん 長淵さん

学生の関心事は就職のことや仕事のこと、この業界全体の内容が大半を占めていましたが、諸先輩方の貴重なアドバイスに耳をかたむける(身を乗り出す?)姿はたくましく、明るい未来を感じさせる光景でした。

世代を超えて続いていくこの「輪」。次の世代に伝えていくことが出来て、改めて生きてくる数々のノウハウ……。この流れがいつまでも続いていけばいいなと思いました。

(記・石渡 由華)

今後の予定

会長宅でホームビアパーティー
 (詳細は、同封の案内、E-MAIL、またはFAXで全員にお知らせしておりますのでご参照ください。)
 ★日 時：平成20年8月2日(土) 17:00～19:00
 ★場 所：宮後会長宅(コラムデザインセンター 4F)
 ★費 用：1,000円
 ★定 員：20名

見学会：①金剛組工場②川島織物本社工場と相国寺③江久庵・南宗寺内天慶院茶室④KIS主催バスツアーなど

SSS第42期通常総会<東京大会>

東京国際フォーラムで

本部SSS(日本インテリア設計士協会)の第42期通常総会は、去る5月17日(土)の午後4時半から、東京駅から程近い都庁跡地に建てられた東京国際フォーラムで開催され、全国から代議員・オブザーバーを含めて68人が出席した。議案審議は形どおりに進められ5時半に終了、記念撮影後、見晴らしの良い7階ラウンジへ会場を移し、交流会が行われた。交流会には主催地である東京都インテリア設計士協会の関係者が来賓として大勢招待されており、いやが上にも盛り上がった。



正面・本部植田会長

翌日は定例の見学。観光バスで銀座界隈を巡回後六本木エリアへ。まず、六本木ヒルズで最近解放された最上階展望台から東京を一望(少し霞んでいたのが残念)した後、東京ミッドタウンで新しい店を見たりショッピングを楽しみ、再びバスで上野へ向かい“はいから亭”で昼食をいただいた。食後は、美術館・博物館が集まる、東京でも屈指のアートエリア・上野公園の自由時間を楽しんだ。折から、東京芸大で開催されていた“バウハウス・デサウ”が一番人気だったのかもしれない。

交流会の料理が少なかったこと、翌日の見学が少しバタバタした他は、可もなく不可もなくといった印象であった。

鬼が笑うかもしれないが、来年は熊本での総会。また多くの楽しい顔に会えるのが楽しみだ。(記・奥田 忠彦)

◆松花堂&神應寺◆ KIS(京都府インテリア設計士協会)主催

3月30日、桜が少し咲き始めた日曜日に京都支部主催のバスツアー「松花堂と神應寺」の見学会に参加しました。松花堂は石清水八幡宮で知られる八幡市にあり、庭園と茶席、美術館、そして今、何かと話題の多い吉兆もあります。この日の目玉のひとつは、その吉兆の松花堂弁当です。嬉しいような怖いような、でもこの店は京都吉兆の松花堂店で、安心して贅沢なお弁当に舌鼓を打ちました。

先に神應寺の見学から。長い石段を、息を切らしながら登りご本尊へ到着。「お腹が空くと昼ご飯が楽しみやね」とかししゃべりながら集合写真(右)。

次は観光バスに乗ってわずか10分ほどで松花堂に到着。庭園は露地と枯山水で囲まれ鶯が鳴き、竹林と椿が咲いたすばらしいお庭、書院と三つの茶席があり、京都工芸繊維大学・日向教授の解説で三班に別れ見学した。



神應寺・山門前で



松花堂



松花堂弁当

ここでちょっといい話を。草庵茶室松花堂の玄関前での説明のとき、飛び石から外れ苔を踏んでいる若い人達があり、日向教授が目で合図をして石の上に誘導していました。また小堀遠州(松隠席)の茶室内での説明の時は、荷物を持って入って来た人達に、「壁や襖に傷を付けないように！ 荷物は外に置きなさい！」と少し強い口調で注意し、その後穏やかに茶室内の見学の仕方を話されていました。

マナーや品格は文化財などを見学し、感じ、知ることからも学べるのです。OISでも若者に感じて考える機会をもっと多く作らなくては・・・。

(記・千田 俊治)



地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅から直結

newスポット!

淀屋橋

o d o n a

ODOROKI+OTONA 高感度な大人達に、いつも驚きを

関西随一のオフィス街である淀屋橋界隈。そこは高感度なビジネスマン、ビジネスウーマンが集まる場所。でも、彼や彼女達にとってこの街は、キタやミナミへと繰り出すまでの、仕事が終わるまでの居場所と誤解されていたのではないだろうか。

淀屋橋はこれから、「はたらく街」から「たのしむ街」へ。ファッションからグルメまで、働く大人たちを愉しませる様々なサプライズが待ち受ける街に変貌した。

IKEA 見てある記



大型連休前の祝日に、国内三店舗目&関西初上陸のイケアポートアイランドに行ってきました。もうオープンして2週間は経つのですが、噂どおりすごい人で、入場まで1時間待ちの状況でした。店内はかなり広いスペースで順路が決められており、矢印どおりに2階から進んでいきますが、お店全体が巨大なショールームのようなもので、テイスト別にコーディネートされた部屋が数多く展示されていました。日本のスタイルというよりは、スウェーデンスタイルが重視されているようです。商品はかなりお手頃な価格が多いので、家を新築、改築する方や引越しをされる方には魅力的かと思えます。

宮後会長も、オープンの翌日に行かれたそうです。「とにかく広くて安いという印象です。高級感のある商品というよりはカジュアル的なイメージなので、20代~40代の人たちには心地よい空間ではないでしょうか。コーディネー

トはしやすいが、パターンは限られてしまうのでは?? スペースとしては、大きな流れでスムーズな家具の配列計画がされていると思います。」との感想をいただきました。

見ごたえのある空間だとは思いますが、まだ足を運ばれていない方は、一度行かれてみてはいかがでしょうか。最近では混雑も緩和されているようです。

(記・広畑 直子)

突き板見本帳作製講習会

5月20日(火)6時30分から行われた”突き板見本帳作製講習会”。会場のコラムデザインセンター1階教室に入ると、すでに梅田講師指導のもとに10余名の参加者が、まるで昆布かノシイカにしか見えない突き板(材面の美しい木材から刃物で薄く削(そ)ぎ取った板。化粧用材として合板などの表面に接着して用いる。スライスド・ベニア)を名刺サイズに切り分ける作業に没頭していた。この突き板は梅田講師が4年がかりで集めた大変貴重なもので60種類以上もあった。木目を短手にして切って講師から注意されたり(基本は木目を長手にする)、また木目に沿って割れやすい材種もあり、カッターナイフに少し力を入れるとバラバラに割れたりする。なんとも手先の器用な私にも難しいことダ、0.25mmの薄さなので仕方ないか。



1 仲田さん

奥田さん



梅田講師

完成した見本帳

完成に近づいた頃、勉強熱心な参加者から「腹へったな～」の声があがった。タイミングよく局長が現れ、ビールとウイナーなどのつまみに、初めてのアツアツ・ガーリックトーストまで登場。

最後に梅田講師から木材に関するウンチクのある話を聞き、お腹と脳の両方が満たされた。そしてここに世界に一つだけの突き板見本帳が完成した。参加者大満足の3時間で、参加されなかった人は、もし第2回があればぜひ参加して、貴重な体験をGETしてください。

(記・仲田 貴代史)

さっそく行ってみました

5月30日オープンした御堂筋に面する新しいオフィス&商業施設ビル「オドナ」へ行ってきました。地下鉄と連絡されており、1・2階は外に面した回廊やデッキから直接各店へ入れるオープンな雰囲気、3階からはオフィスです。本屋の他、20代後半~30歳代のOLやビジネスマン向け服飾雑貨、飲食店、雑貨小物などの店が入っています。フロアの見通しは少し抑え、廊下への張出しネームもなく、ガラスの開き戸にネームがある

だけのすっきりさで、なんとなくレトロなビルが高級ホテルのショッピングゾーンを思い出します(外周側が正面入口だからだとか?)。一転して、床や壁の装飾やエレベーターホールは現代風です。一つ一つの店はこじんまりしていますが、店内階段で1階と2階が行き来できる店があるなど、全体的には少し高級感がありながらリラックスできる雰囲気でした。アマダナなどの家電小物をおいた雑貨店は面白そうでした。(記・田原 妙子)



2階回廊

写真や画像データからの変更・修正

仲田 貴代史 (仲田デザイン事務所代表)

Aを最終完成図のように修正するのですが、今回は、その途中までを説明します。

床や木部の色変更と右の隔壁の形、正面の壁面部、テーブルの色、以上5点の変更です。

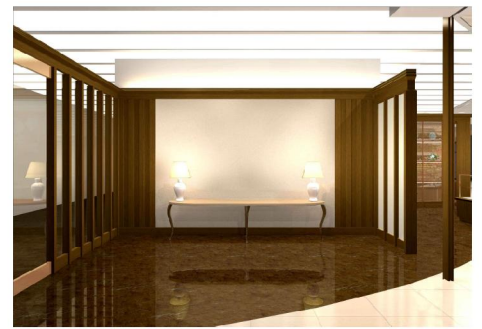
①床と木部の色変更

床の赤い石や木部は見本Bのように濃い茶色に変更します。これはその部分を選択して色相などを変更すると簡単に修正できますが、まずは変更箇所を選択する作業から始めます。

Cのように木部、正面のテーブル、スタンドを選択し、それぞれレイヤー分けをし、塗りつぶしツールで、分かりやすい色で色分けをします。木のレイヤー、スタンドのレイヤー、テーブルのレイヤーとしておきます。床の赤い石も選択しておきます。



A



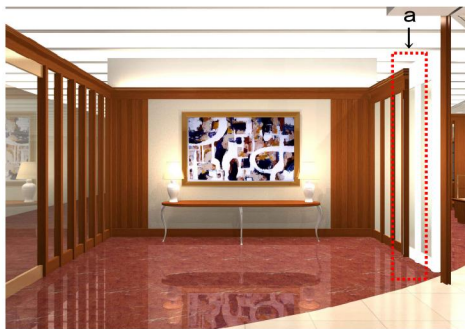
最終完成図



C



B



D

②次はこの作業の中で一番手間のかかる隔壁部の修正を中心に説明します。まず短くなる右の隔壁の木部を選択し、Deleteで消します。

隔壁の端部の制作(D~D1)

これは、もとの画像の端部が手前の柱で半分見えていないので、見えている部分をいねいに選択し、コピーしたレイヤーを作ります。それだけではDの画像のように半分だけです(a部)、その前面だけコピーし、左右反転し右側に重ねます。これで隔壁の端部の完成です。



D1



E



F

③次に隔壁が短くなり白く抜けたところに背景が出てきます。ここでは別画像Eのケースの一部が奥の壁面にはまり、天井は光天井につながり、床は赤い石につながりますので、まずはEのケース(b部)を切り抜き、作業中の画面に移動します。

F: 変形ツールで拡大・縮小、自由な変形を使ってらしく見えるように納めます。天井はもと画像の右端の光天井の幅は狭いのですが、奥まで続いているので、それを選択し、コピーして変形ツールの拡大で横へ伸ばし、必要などところだけ切りとります。床はコピーツールでコピーしているだけです。これで隔壁が短くなったため、見えなかったところが見えてきたのです。結構手間ですね。

G: ここまでできたら、木部の色を『色彩・彩度』で少し黄味よりにし、彩度を落とし『明るさ・コントラスト』で少し暗く

